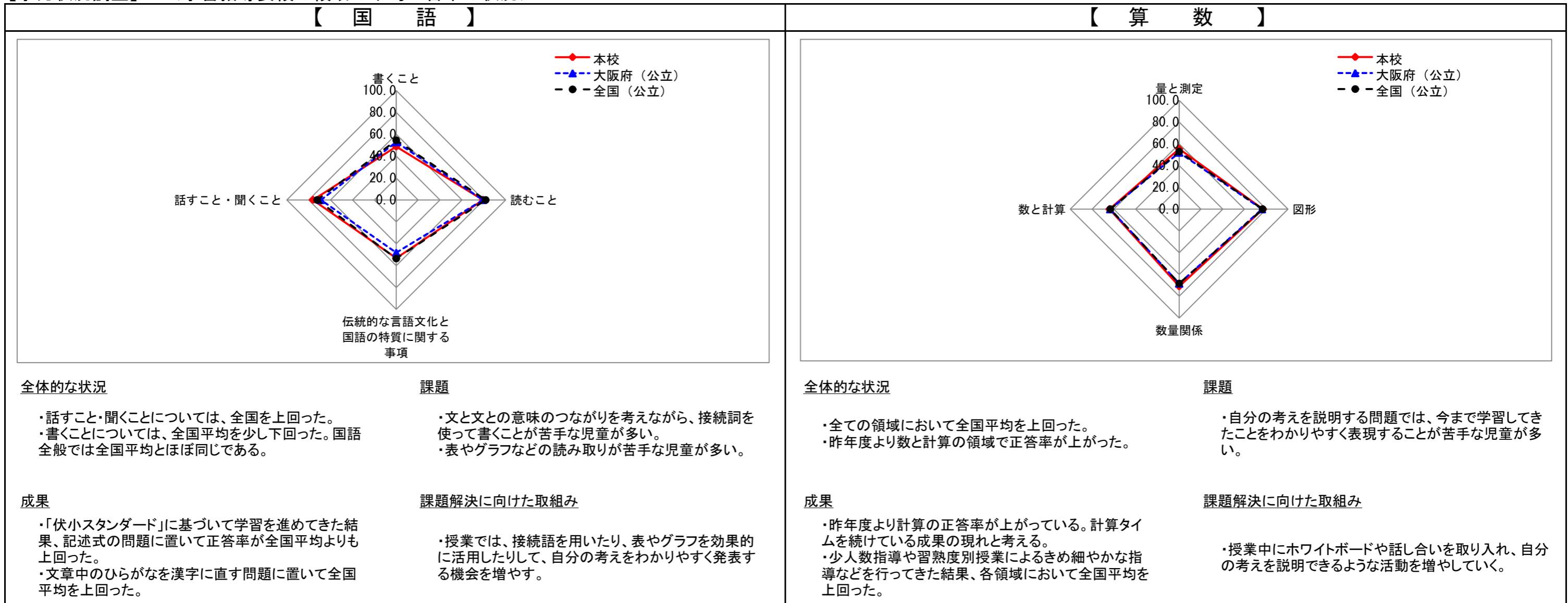


調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校(%)	府(%)	全国(%)
先生はあなたのよいところを認めてくれますか	90	85	86
学校へ行くのは楽しいと思いますか	92	84	85
読書は好きですか	76	72	75

全体的な状況

- 学校へ行くのは楽しいと思っている児童が全国平均よりも大きく上回っている。また、先生は良いところを認めてくれるに関しても全国平均を上回る結果となった。読書については、全国平均を上回るなど肯定的な解答が増えている。

成果

- 学校へ行くのは楽しいと思っている児童が増えていることは、授業の工夫改善が要因の一つと考えている。また、読書については、朝読の回数の増加や図書室の充実など子どもたちが本に触れる機会を増やしてきた成果の現れである。

課題を残した主な項目	本校(%)	府(%)	全国(%)
家の人と学校での出来事について話しますか	72	75	77
コンピューターなどのICTをどの程度使用しましたか(月1回未満)	62	35	31
自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章など話の組み立てなど工夫して発表していましたか	44	57	61

課題

- 学校の出来事について話す児童が減少傾向にある。
- コンピューターなどのICT機器に触れる機会が少ないと感じている児童が多い。
- 自分の考えを上手く伝えるために工夫することが苦手な児童が多い。

課題解決に向けた取組み

- ICT機器に関しては、環境が整い次第積極的に活用していく。
- 自分の考えを伝える力をつけていくために、ペアやグループで発表する機会をより多く設定していく。

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

- 本校では、「わかりやすく表現する力」を身につけていくことをめざし、全ての教科において、ペアやグループで発表する機会を設け、ホワイトボードやICT機器を活用した活動を計画的に実施していきます。また、お互いの考えを交流することを通して、一人ひとりの考えを認め合える集団作りにも取り組んでいきます。
- 読書については、年々肯定的な意見が増えてきている傾向にあるので、更なる読書習慣が身につくよう学校と家庭が連携していきましょう。